

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

世界遺産 からの メッセージ

平泉・石見銀山の歴史力

講師

入間田宣夫 (東北大学名誉教授、一関市博物館館長)

仲野 義文 (島根・石見銀山資料館館長)

申込不要
入場無料



今回の東北大学東北アジア研究センター公開講演会は「世界遺産」をテーマとして開催いたします。

世界遺産にはメディアをはじめ多くの注目が集まり、今年は富士山が大きな話題となりました。

しかし、私たちはその重要な意味を十分に理解しているでしょうか。登録された遺跡や周辺地域がどのような歴史を歩み、伝統を育んできたのか。今回の企画では、講師の先生方が進めておられる研究から「世界遺産とは何か」を考えてみたいと思います。

仲野先生は「石見銀山遺跡とその文化的景観」(2007年)、入間田先生は「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」(2011年)の世界文化遺産の登録に尽力されました。世界遺産を肌で知り、第一線で活躍される両先生から多くを学びましょう。

2013年12月7日(土) 14:30 ~ 17:00 (開場 14:00)

会場 仙台市戦災復興記念館 仙台市青葉区大町二丁目12番1号
(仙台市営バス「東北公済病院・戦災復興記念館前」で下車)

主催/東北大学東北アジア研究センター (<http://www.cneas.tohoku.ac.jp>) 共催/東北アジア学術交流懇話会
お問い合わせ/東北アジア研究センター事務局 (022-795-6009)



東北大学